

磐城時報

編集者 石城郡平町福屋町十四
印刷所 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二
発行所 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二
代印所 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二
印刷部 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二
電話部 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二
電話部 石城郡平町福屋町十四
電話 二二二二

磐中の學級減に 知事考慮を約す

十七日代表者反對陳情

既報 明年度縣豫算の關係で磐中査定されたが内務省富永技師
城中等學校は各學年一學級宛を減が實地踏査のため十八日から三
少される事に内定した事を知つて日開來郡調査をする。

渡邊村で 鶏卵貯金

柴田徳二、阿部政右衛門、新田各戸で一日一個の卵貯金を行つ
目春松、山野邊庄吉の諸氏が縣で、農村の不況打開から同
議井上茂作、田子健吉、野崎藤村では養鶏に極力意をこまぎ養
藏の三氏と共に縣知事鶏組合を設けて生卵は各地に移
に面會反對の意見を述べて陳情出している、これと共に時節柄
知事も諒として考慮する旨を答へて歸平した。

武運長久祈願のため 赤井嶽登山者激増

赤井嶽登山者は安産の守護神として
祈禱のため登山者が絶えな
事がないが、過般日支事變が起
つた以來は地方から出征して
在満軍人の家族その他關係者
が登山して武運長久を祈願す
るの非常に多く日曜日などは數
十名に達する有様である。

内務省技師 災害調査

平土木監督管内の去月十三日の
水害復舊費は總額二十六萬餘圓
である。

若松、草野兩氏 妥協遂に困難

十九日の村會も 混亂を豫想さる

若松、草野兩派が争ふ石城郡赤派は主張し、若松派は生活の根
井村長選舉が戸數割賦課決定が赤井村にあるからとてこれ
村會で若松氏の戸數割賦課は赤に反對し抗争は終に表面化し、
井村に常住するものでないから石城郡民政幹部が調停に入つた
これが賦課は不當であると草野が兩者何れも強硬なる態度を持
てた。

少年就職希望者 断然二百名に達し

平職業紹介所で 二十五日から性能検査

平職業紹介所では明年三月に卒
業する聯絡小學校十四校の卒業
生の就職希望者に對し出来る限
る等事態複雑し妥協が成立す
るに至らず、十七日助役並に書
記が出席し縣の指揮を仰いたが
愈々十九日午後一時から村會を
召集する事になつたが、若松、
草野兩氏が妥協せぬ限り混亂は
免れぬ形勢である。

破戒僧を脅迫した 酒井醫師を脅迫した

十七日午後八時頃平町南町飲食
の指導員會を開き幹事方法につ
いて打合せをなす。

木炭検査員會 平町各小學校では去る十五日から一週

郡木炭同業組合検査員會は十九
日午後二時から相馬郡原町支所
内に開くが石城郡から出席者二
十五名である。

小學校児童唱歌會 一千余名のメロデー

石城郡各小學校聯合會唱歌大會
は今十八日午前十時から平第三
小學校講堂に開催されたが参加
者は郡内二十餘校一千六百二十
名に達した。

難破船の 引揚作業

昨報双葉郡新山町大字細谷海岸
に十五日午後一時頃座礁難破船
の石城郡江名町中之作發動機
船第二福田丸は江名町から同日
夕刻三隻の救助船が急行十二名
石城郡内郷村大字宮字平太郎居
れども決せずにある。

夫の不在中 衣類を所持逃げ

住安積郡日和田町高倉三一生れ
遠藤利勝妻タキノ(四六)は七日
午後八時頃夫の不在中衣類七十
八点を持つて家出し行衛不明と
なつたので十八日平署に搜索方
を願ひ出た。

幼兒溺死

石城郡神谷村大字鎌田字込内一
番地鈴木忠吉長男武(二)は十
八日午前十一時頃自宅前夏井川
附近で遊戯中河中に轉落溺死を
遂げた。

改修保留

濱街道なる國道第六號線中本縣
と茨城縣境なる勿來トンネルの
改修については兩縣三年來の懸
案であつたが、いよゝ、明年度
において福島一萬七千圓、茨城
一萬二千圓、計二萬九千圓の
工費で切替すべく最初豫算に
計上されたが、その後内務省が
別項の如く三十萬圓を以て福島
市阿武隈河川を改修すべく計割
してゐるのでこれが實現する際
は國道の一切に對する明年度縣
工事を施行せざるやう通牒に接
してゐるので本縣としては未だ
勿來トンネル改修問題に對して
の最後の決定を與へずにある川
崎知事も若し阿武隈川の河川改
修が實現せざる際は同トンネル
改修を明年度に施行すべく最後
まで保留してゐるので同問題は
川崎知事上京の上ならではいづ
れとも決せずにある。

舉動不審の男 余罪ある見込

當時住所不定無職茨城縣太田町
字木崎生れ窃盜前科六犯鈴木亥
之助(四六)は十七日小名濱町木
賃宿小松作太郎方に上初中舉動
不審で平署に捕はれ取調べの結
果去月申川町驛前附近で衣類
數十点を窃取した事を自白した
が余罪ある見込みである。

勿來トンネル

濱街道なる國道第六號線中本縣
と茨城縣境なる勿來トンネルの
改修については兩縣三年來の懸
案であつたが、いよゝ、明年度
において福島一萬七千圓、茨城
一萬二千圓、計二萬九千圓の
工費で切替すべく最初豫算に
計上されたが、その後内務省が
別項の如く三十萬圓を以て福島
市阿武隈河川を改修すべく計割
してゐるのでこれが實現する際
は國道の一切に對する明年度縣
工事を施行せざるやう通牒に接
してゐるので本縣としては未だ
勿來トンネル改修問題に對して
の最後の決定を與へずにある川
崎知事も若し阿武隈川の河川改
修が實現せざる際は同トンネル
改修を明年度に施行すべく最後
まで保留してゐるので同問題は
川崎知事上京の上ならではいづ
れとも決せずにある。

冬服荷揃ひ

紺色柄物 三ッ揃.....拾貳圓
 最新柄物 三ッ揃.....拾三圓五十錢
 スコッチ 三ッ揃.....拾三圓五十錢
 最上紺黒 サージ 三ッ揃.....拾六圓五十錢
 高級品 ウォステッド 三ッ揃.....拾九圓

平町 正札堂洋服店 電話四三六番

脚氣や難症痼疾病者の一大福音

官許家傳 實に不思議な
 のんでスグキク 不思議になほる
 たばこや植物性で絶対安全
かつけ薬
 すいさか必ずされる

眞の血脚氣藥 (絶対的)
 ろくまくの水をスグこる
 腎臓病が不思議になほる

薬價 三服入 金壹圓

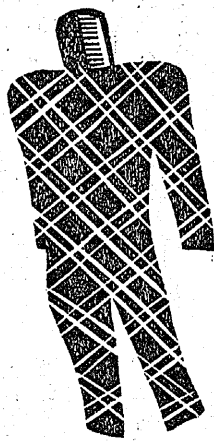
特約店 平町四丁目
小野屋薬店
 電話一四四番

吉田眼科病院
 平町紺屋町 電話六八番

「アンカ」コタツに徳用な
 木炭 代用 **たごん**

製造元 鈴木炭團製造所
 平町古鍛冶町杉ノ澤
 平町二丁目(警察署通り)
 卸小賣所 **魚清水卸部**
 電話四六七番

冬の洋服



御召替の節となり
 ました。皆様の御氣に召す
 品を豊富に取揃へて御座
 びます。

細目サージ背廣 ¥12.00
 ウォステッド背廣 ¥11.00
 黒サージ立襟 ¥5.30
 オーバ..... ¥4.50

ふかや洋服店 平町二丁目 電話203

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚
 平町二丁目
藤市蒲鉾店
 電話三〇五番

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
 マルソー・アランク・白 ¥1.10
 マルソー・ルー・ジ・赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋薬局

胃腸
 専門 内科
 腸十二指腸 腸胃病
 婦人病 皮膚病
松村村松
 院醫科 腸胃病 胃性 腸胃病
 (七〇一話電) 町南町平

許免臣大藏大
盡無城磐
 誠意 堅實
 番八七三話電町平
 蓄貯ノ味趣馳金ノ易簡

電話開通
 早川自動車部
 石城郡大浦村
 自動車ノ御用命ハ
 ゼヒ早川ヒ

秘家傳腫物湯

のんで効く
 はれ物の妙薬
 主一 面疔 癰疽 乳の腫れ 指のはれ 林巴腺の腫れ
 効一 耳鼻のおでき 骨膜炎 筋炎 是れ物手術の前
 痕を殘さず美容上最適の治療劑なり
 ◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
 定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
 特約店 平町四丁目 小野薬店 四ッ倉町 荒川薬店
 平町三丁目 宇佐美薬店 植田町 松本薬店
 湯本町 岩瀬屋薬店 富岡町 莊野薬店
 腫物湯 製劑所 磯野 衛生堂

油と味噌
山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
 呼吸器病バカリデハアリマセン
 平町南町六五改(電話一八一番)
川井内科診療所
 醫學士 川井重子
 女醫 川井安子

内科 小兒科 (入院應需)
 花柳病科
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話平四〇七番